

## エフエム愛媛の「えひめまるごと15分」で20周年記念誌の『お手玉』が紹介された

エフエム愛媛に、愛媛県内の各市町を様々な角度から紹介する「情報発信番組」『えひめまるごと15分』があります。その番組の木曜日を担当するパーソナリティ・猪井真弓さんが、6月6日の放送で、日本のお手玉の会の20周年記念誌『お手玉』を紹介してくださいました。

番組では、なぜ！新居浜でお手玉遊びの普及活動が始まったのか、発足からの取り組みの様子、20周年を記念して出版した『お手玉』はどんな内容、これからどんな活動を展開するの...といった内容でした。

お手玉遊びは、おばあちゃんから孫へと継承されてきた「隔世伝承」の遊びであること。そこには、裁縫の基本を教え、礼儀作法や公衆道徳、むかし話を話して聞かせるなど、世代を超えた温かい交流があったこと。

お手玉を普及させることで、現代社会に欠けている世代交流をよみがえらせることができる。そのことに新居浜市民が気付いき、新居浜市に本部を置く日本のお手玉の会を、平成4年9月に発足したこと。全国に向かってお手玉遊びの普及を大きな声で呼びかけ、多くの賛同をいただいで、今日に至っていることを話しました。

20年の間に、全国お手玉遊び大会を17回開催し、全国規模の各種の大会に参加し、18回の海外遠征などを通じて、お手玉の魅力を全国、世界に発信をづけ、現在では、北海道から沖縄県までに44支部、海外に2支部があり、会員は1000人になっています。

そうした活動の内容を、記念誌『お手玉』にまとめ、さらに広く、たくさんの人々にお手玉の魅力を知っていただきたいと願っている、と伝えました。

これからも、お手玉遊びの普及活動をとおして、「こころ豊かなまちづくり」に貢献してまいりますので、多くのご支援、ご協力をいただきたいと思います。番組を通じて訴えさせていただきます。



出版にあたり「ぬくもりを届けて20年」笑顔のきずな『記念誌お手玉』をお届けします。

この冊子は、日本のお手玉の会の設立20周年、新居浜市の市制施行75周年の記念事業の一環として、日本のお手玉の会が出版しました。出版にあたりましては、新居浜市からの記念事業にいただいた補助金を充当させていただきました。また、編集にあたりましては、新居浜市が編纂した『お手玉』の資料をご提供いただき、それを基盤に、日本のお手玉の会の新しい情報を加え、全国各支部のご協力をいただいで編集を行い、この冊子『お手玉』を完成させました。

これまでの活動の歴史を振り返るとともに、伝承文化としてのお手玉遊びの継承、発展と「心豊かなまちづくり」活動の新時代を切り拓くための、参考資料にさせていただくことを、心から願ってやみません。

発行・日本のお手玉の会  
編集制作・日本のお手玉の会新居浜支部

1冊：  
1,500円  
(税込)送料別